

2020年4月24日

各位

会社名 ファナック株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山口賢治  
(コード番号: 6954 東証第一部)  
問合せ先 広報部長 藤井敬介  
(連絡先: 0555-84-5555)

## 剰余金の配当（特別配当を含む）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2020年3月31日を基準日とする剰余金の配当（特別配当を含む期末配当）につき、2020年6月26日開催予定の第51回定時株主総会において下記のとおり提案することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 配当の内容

基準日	2020年 3月31日		2019年 9月30日	2019年 3月31日
	決定額	直近の予想	実績	実績
1株当たり 配当金	174円65銭 (普通配当103円79銭) (特別配当70円86銭)	—	125円35銭	404円92銭 (普通配当224円34銭) (特別配当180円58銭)
連結配当性向	101.0% (普通配当60.0%) (特別配当41.0%)	—	60.0%	108.3% (普通配当60.0%) (特別配当48.3%)
配当金の総額	33,502百万円	—	24,055百万円	78,486百万円
効力発生日	2020年 6月29日	—	2019年 12月2日	2019年 6月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金	利益剰余金

#### 2. 理由

当社は、「連結配当性向 60%を基本方針として実施する」という当社株主還元方針（2020年4月24日公表の2020年3月期決算短信に記載）に基づき株主還元を実施してきました。また、当社は、2019年4月24日、7月29日、10月28日および2020年1月29日開催の取締役会において、500億円を上限とする自己株式の取得を決議しておりましたが、米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症拡大等の影響を受けた株式市場の著しい変動等により、決議した自己株式の取得価額総額の上限には至りませんでした。

当期末は、連結配当性向 60%の配当に加えて、上記の取締役会において決議した自己株式の取得価額総額（上限）のうちの未取得分を主な原資として、特別配当として還元するものです。

この結果、当期末配当案は以下のとおりとなります。

	中間配当	期末配当	年間配当
当期(2019年度)			
1株当たり配当額	125円35銭	174円65銭	300円00銭
(普通配当)	(125円35銭)	(103円79銭)	(229円14銭)
(特別配当)	—	(70円86銭)	(70円86銭)
配当性向	60.0%	101.0%	78.6%
(普通配当)	(60.0%)	(60.0%)	(60.0%)
(特別配当)	—	(41.0%)	(18.6%)
(ご参考)			
前期(2018年度)			
1株当たり配当額	598円19銭	404円92銭	1,003円11銭
(普通配当)	(252円87銭)	(224円34銭)	(477円21銭)
(特別配当)	(345円32銭)	(180円58銭)	(525円90銭)
配当性向	141.9%	108.3%	126.1%
(普通配当)	(60.0%)	(60.0%)	(60.0%)
(特別配当)	(81.9%)	(48.3%)	(66.1%)

以 上